

2019年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史B	学年	2
				コース	AB選抜文系
	使用教科書		『詳説 日本史B』山川出版	履修単位数	5
学習目標	史料に触れながら過去を鑑み、日本という地域における文化に対する知識を深める。また国際化が進み、平成から令和へといたった時代の転換点にあたる現在、自国の歴史を学ぶ意義についての理解を深める。			評価観点	定期試験の素点を軸に、小テストや提出物の成果、授業での積極的な参加、授業外での日本史に対する取り組み方などを総合的に評価する。
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4 5	第一部 原始・古代 第三章 貴族政治と国風文化 「1 摂関政治」「2 国風文化」「3 地方政治の展開と武士」	<ul style="list-style-type: none"> ・藤原北家による権力確立と、摂関政治について把握する。 ・遣唐使廃止とそれに伴う影響、余波について理解を深める。 ・この時代に形成された国風文化の学習を通じて、日本文化に対するの関心を高める。 ・武士の登場についての歴史的意義をおさえ、今後の学習への展開を図る。 			
《第1回定期試験》					
6 7 9	第二部 中世 第四章 中世社会の成立 「1 院政と平氏の台頭」「2 鎌倉幕府の成立」「3 武士の社会」「4 蒙古襲来と幕府の衰退」「5 鎌倉文化」 第五章 武家社会の成長 「1 室町幕府の成立」「2 幕府の衰退と庶民の台頭」	<ul style="list-style-type: none"> ・摂関政治の終結と、院政という権力構造の展開、その後の武家政権の成立と展開(平氏政権～鎌倉幕府)について把握する。 ・政権ごとの外交政策の変化を、大陸情勢も踏まえながら学習する。 ・時代時代の文化(院政期の文化・鎌倉文化)を対比しながら学習し、日本文化への理解を深める。 ・足利政権(室町幕府)の展開と衰退を、前時代までにはあまり見られなかった「積極的な下からの影響」を踏まえ、その歴史的意義を理解する。 			
《第2回定期試験》					
9 10 11	「3 室町文化」「4 戦国大名の登場」 第三部 近世 第6章 幕藩体制の確立 「1 織豊政権」「桃山文化」	<ul style="list-style-type: none"> ・室町時代における文化の変遷を、それぞれの時代(南北朝期～北山文化期～東山文化期)ごとの政治状況を踏まえながら把握する。 ・幕府の衰退を背景とした地方政権の躍動を、その地域ごとに理解する。 ・大航海(大交易)時代という世界史の潮流と、それに対する日本の動きを連結し、理解を深める。 ・織田、豊臣政権の権力確立について、その過程を踏まえながら学ぶ。 ・桃山文化について、南蛮文化としての側面にも触れつつ関心を高める。 			
《第3回定期試験》					
12 1 2	第6章 幕藩体制の確立 「3 幕藩体制の成立」「4 幕藩社会の構造」 第7章 幕藩体制の展開 「1 幕政の安定」「2 経済の発展」「3 元禄文化」	<ul style="list-style-type: none"> ・徳川家康の権力掌握について、その過程を踏まえながら学ぶ。 ・徳川政権(江戸幕府)の特異性や特徴を前時代と対比させながら学び、現代に繋げることで関心を高める。 ・幕政の転換と安定について、その背景に留意しながら理解を深める。 ・世情の安定がもたらした経済発展について、その構造と影響を把握する。 ・幕政安定と経済発展がもたらした元禄文化について、文化の中心層を踏まえながらおさえる。これにより、江戸後期の文化への連結を図る。 			
《第4回定期試験》					
3	第8章 幕藩体制の動揺 「1 幕政の改革」	<ul style="list-style-type: none"> ・幕藩体制の動揺の背景とそれに対する幕政改革について学び、次学年での学習への足がかりとする。 			
副教材	『最新日本史図説』第一学習社 『日本史重要語句Check List』啓隆社				

2019年度 シラバス

教科	地歴・公民	科目	世界史B	学年	2
				コース等	AB選抜文系
	使用教科書		『世界史B』東京書籍	履修単位数	5
学習目標	世界各地で発生する様々な紛争、環境といった諸問題への関心を高め、その原因を主体的に考察する力を身につける。そのための歴史の大きな枠組みと流れを理解し、歴史的関心を高め、客観的なものの見方を身につける。地理的条件の違いや日本の歴史との関連性についても考える。文化の多様性を多角的かつ広い視野から考察し、歴史的思考力を培う。			評価の観点	定期テスト 小テスト 授業態度・発言 等
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	文明以前の人類 オリエント世界と東地中海 ギリシア・ヘレニズム世界	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境が人間生活に大きく影響することを踏まえて、人類の進化の過程を理解し、新石器時代の到来、農耕と牧畜の始まりと農耕文化の伝播への理解を深める。 ・メソポタミア文明・エジプト文明の展開とそれらの文化の特徴を理解する。 ・ヒッタイトなどの諸民族の侵入、フェニキア人・アラム人・ヘブライ人の活動について理解する ・オリエントを統一したアッシリアとアケメネス朝の支配の仕方の相違点に注目する。 ・クレタ文明とミケーネ文明の成立とその特徴を理解する。 			
5					
《第1回定期試験》					
6	都市国家ローマ ローマ帝国の繁栄	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマの共和政の特徴と、それに伴う社会の変化について、理解を深める。 ・専制君主政期のローマの政治体制をローマ共和政との違いから理解する。 ・アケメネス朝・パルティア・ササン朝の統治体制、ペルシア文明の特質を理解する。 ・古代インドの社会の成立を、インドで誕生した宗教の成立とからめて、その特徴を理解する。 ・マウリヤ朝やクシャーナ朝の発展を仏教を中心に、ヒンドゥー教の成立を Gupta朝とからめて、以降のインド世界の基盤が形成されたことを理解する。 			
7	ペルシア人 南アジア世界				
9					
《第2回定期試験》					
9	南アジア世界	<ul style="list-style-type: none"> ・殷や周の国家体制と政治の特徴を両王朝の特徴を理解する。 ・春秋・戦国時代の社会の変動、諸思想の出現がその後の中国に大きな影響を及ぼしていることを理解する。 ・秦漢における中央集権的専制国家の形成について、周辺地域とも関連づけて理解する。 ・騎馬遊牧民の内陸ユーラシア世界における役割を理解する。シルクロードを舞台とした人やものの交流について理解を深める。 ・東南アジア世界の海域世界としての特質を理解する。 			
10	東アジア世界 騎馬遊牧民国家の興亡				
11	東南アジア世界 アフリカ・オセアニア・古アメリカ				
《第3回定期試験》					
12	イスラーム世界の形成 ヨーロッパ世界の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・イスラーム教成立の経緯とその特徴を理解する。 ・諸民族へのイスラーム教の普及に伴うイスラーム世界の拡大、地方政権の成立と発展について理解する。 ・ビザンツ帝国の動向、スラヴ人の諸国家の形成について学ぶ。 ・フランク王国とローマ教会の結びつきが西ヨーロッパ中世世界の形成につながったことを理解する。 ・封建社会の形成とその特徴および商業や都市の発展、遠隔地商業圏の成立、中世の都市生活を理解する。 ・教皇権の拡大と、十字軍の背景や影響について、西欧世界の膨張という大きな動きの中で理解する。 ・唐滅亡から宋の成立にいたる変動について、北方民族の動きに注目し理解する。 			
1					
2					
《第4回定期試験》					
3	唐・宋・元・ユーラシア大陸世界				
副教材	『グローバルワイド最新世界史図表初訂版』第一学習社 『要点マスター 世界史B整理ノート』東京書籍				

2019年度 シラバス

教科	地歴公民	科目	倫理	学年	2
				コース	AB選抜文系
	使用教科書	『高等学校 新 倫理 改訂版』清水書院		履修単位数	4
学習目標	先人の思想を学ぶことにより、自らの生き方を積極的に考え、自分とは何者であるかを考察し、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。 人間尊重の精神に基づいて、青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解と思索を深める。			評価の観点	定期試験の結果、出席状況・提出物・小テストを中心に、授業態度や発問に対する解答などを踏まえて総合的に判断する。
授 業 計 画					
月	単元・教材	学 習 内 容			
4	現代に生きる自己の課題 ・人間とは何か ・青年期の課題と自己形成	<ul style="list-style-type: none"> ・「人間」の定義について学習する。 ・心理学の立場から、「青年期」に特有の課題について学ぶ。 ・自己形成の大切さや、自分だけの価値を見いだせるようなグループ学習を行う。 			
5	人生における哲学 ・神話から哲学へ ・自然哲学の誕生とソフィスト	<ul style="list-style-type: none"> ・古代ギリシアでの、理性(ロゴス)の発達によって、神話から脱却し哲学が築かれていった経緯を学習する。 ・自然の根源や万物の根源(アルケー)を模索する自然哲学について、哲学者を通して学習する。 ・自然から人為に思考が転換され、知者(ソフィスト)の登場について学習する。 			
《第1回定期試験》					
6	人生における哲学 ・真の知への道 ・理想主義的なあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・人間として「善く生きる」ということは何なのかを3人の哲学者を取り上げながら学習する。 ・ソクラテス・プラトン・アリストテレスを通して、それぞれが考えていたこと、それぞれの「善く生きる」について考察する。 			
7	・現実主義的なあり方 ・幸福をめぐる問い	<ul style="list-style-type: none"> ・ストア派とエピクロス派について学習し、幸福とは何なのかを学習する。 			
9	人生における宗教 ・キリスト教 ・イスラーム ・仏教	<ul style="list-style-type: none"> ・人々が「宗教」に何を求めたのか、「宗教」が人に何を与えたのか、「世界3大宗教」から学ぶ。 			
《第2回定期試験》					
9	人生の知恵 ・中国思想	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の道徳観の根幹に当たる中国思想を、儒家・道家・法家などの様々な思想家を通して学習する。 			
10	現代の倫理的課題 現代に生きる人間の倫理 ・人間の尊厳 ・自然や科学技術と人間の関わり	<ul style="list-style-type: none"> ・科学革命の起こした効果について学習する。 ・ルネサンスや宗教改革の歴史的背景や、その時期に活躍した芸術家や哲学者を通して、再度人間について学習する。 ・ベーコンやデカルトを通して「考えること」等を含めて学習する。 ・社会契約説を通して、啓蒙思想や人権に関して学習する。 			
11	民主社会における人間の在り方				
《第3回定期試験》					
12	民主社会における人間のあり方 自己実現と幸福	<ul style="list-style-type: none"> ・ドイツ観念論や功利主義、プラグマティズムを通して、幸福についてや実用的とはどのような事かを学習する。 			
1	個人と社会との関わり 現代における理性の問題	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義や、社会主義などの世界の経済の仕組みや歴史的背景を学習する。 ・他者への尊重することを学習する。 			
2	日本の風土と外来思想の受容	<ul style="list-style-type: none"> ・古代から日本人はさまざまな宗教を受け入れながら、自分たちに合う形として積み重ねてきた。古代から現代まで、日本人はどのような文化・思想を形作ってきたのかを学ぶ。 			
《第4回定期試験》					
3	現代の諸問題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の社会が抱える問題をテーマで取り上げ、環境や生命、情報などについて調べ、グループ学習をし、発表する。 			
副教材	『最新図説 新倫理』 浜島書店				

2019年度 シラバス

教科	地歴公民	科目	現代社会	学年	2
				コース	AB選抜
	使用教科書		『現代社会』東京書籍	履修単位数	2
学習目標	<p>・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づき、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。</p> <p>・現代社会の基本的な問題について主体的に考え公正に判断するとともに自ら人間としての在り方生き方について考える力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を身につける。</p>			評価の観点	<p>定期試験の結果、出席状況・提出物・小テストを中心に、授業態度や発問に対する解答などを踏まえて総合的に判断する。</p>
授業計画					
月	単元・教材	学習内容			
4	現代社会の特質	<p>・現代社会における、地球環境・資源・エネルギー・科学技術・情報など様々な問題について学ぶ。</p> <p>・心理学の立場から、「青年期」に特有の課題について学ぶ。</p>			
5	<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境/資源/技術/情報化 現代社会と青年の生き方 ・現代社会と青年 ・青年期の発達課題 ・自己形成と社会の関わり ・進路と生きがいの創造 				
《第1回定期試験》					
6	よりよく生きることを求めて	<p>・「よりよく生きる」というキーワードから、哲学・宗教・文化について、日本や世界でどのようなことが考えられてきたのかを学ぶ。</p> <p>・民主主義を実現するための民主政治の歴史と現在の特色について学ぶ。</p> <p>・基本的な人権が確立されるまでの歴史的背景を学習する。</p> <p>・世界各国の議会政治の特色について学習する。</p>			
7	<ul style="list-style-type: none"> ・哲学/宗教/近代科学 人間の尊厳/人間性/文化 				
9	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法と民主政治 ・民主政治とは ・基本的人権 ・世界の政治体制 				
《第2回定期試験》					
9	日本国憲法の基本原理	<p>・日本国憲法の特色と、憲法に基づきどのような政治が行われているのかを学ぶ。</p> <p>・日本国憲法によって保障される国民の権利にはどのようなものがあるのか、また新しく必要とされている権利とはどのようなものなのかを学習する。</p> <p>・自衛隊の存在意義や、国際社会における日本の役割とは何なのかを考え、これからの日本の姿について学習する。</p>			
10	<ul style="list-style-type: none"> ・日本国憲法の3つの原理 ・基本的人権の保障 ・新しい人権の広がり ・平和主義と安全保障 				
11					
《第3回定期試験》					
12	日本の政治機構	<p>・議会政治の中心である政党と、議会の代表者を決める選挙の仕組みについて学習する。</p> <p>・日本の三権分立の構造について学習します。立法・行政・司法のそれぞれの役割を理解する。また、地方自治に関して、地域の抱えている問題や格差も踏まえて学習し、地方が活性化する為には何が必要かを模索する。</p>			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・国会と立法 ・内閣と行政 ・裁判所と司法 ・地方自治 				
2					
《第4回定期試験》					
3	現代政治の特質と課題	<p>・18歳から投票権を有すること、若い世代が投票を行う意義等について考える。</p>			
副教材	『最新現代社会』第一学習社				